

愛に達するための祈り

目的：自分の心が、神に対する一層大きな愛で燃えるように、神を体験すること
全てのものにおいて神を見、神において全てのものを見ること
自分の意志を神の意志と一つすること
自分と世界のための神のビジョンに沿って生きること

◆ この祈りの前提（ヨハ 15,1-17； ヨハ 17,20-26）

- ◇ 神は、ご自分の愛とご自分自身を一人ひとりの人間に与えておられます。そして、一人ひとりの愛を求め、一人ひとりとの親しい交わりをもちたいと望んでおられます。
- ◇ 神はわたしの最も大切な友になり、わたしの最も大きな愛になりたいと望んでおられます。
- ◇ 神の望みの実現は、わたしの自由な応答にかかっています。
- ◇ 神の愛と神の望みは、人間の最も深い望みの源なのです。
- ◇ 神の愛と友情を受け入れることによって、人間は「神化」され、イエスの似姿になっていきます。
- ◇ 神の愛に応えたいという望みも、応えることも神の賜物で、求めるべき恵みなのです。

◆ 愛の本質（1 コリ 13； ロマ 15,1-6）

- ◇ 愛は、言葉や感情よりも、行いによって表現されるものです。
- ◇ 愛は、相手の真の善のために、自分の命を含めて、すべての所有するものを相手に与えることなのです。
- ◇ 私たちが相手を本当に愛するのは、相手から何かをもらったからではなく、相手において、内面的な美しさや他の優れた価値を見出したからです。

第1黙想

目的：神からいただいた全ての賜物を知ること

📖 使 17,22-28

- 神からいただいた賜物の中で、最も大切なものは何ですか。
- この黙想会の中でいただいた賜物は、何ですか。
- この賜物は、どんな気持ちをもたらしましたか。
- 感謝の気持ちがありましたら、それをどのように表現したいですか。

「主よ、すべてを取ってお受け取りください。わたしの自由、わたしの記憶、わたしの知性、わたしの意志をすべてお取りください。わたしの持っているもの、わたしの所有物すべてをお取りください。これらのものを御身はわたしに与えてくださいましたから、主よ、御身にお返し致します。すべては御身のものでありますから、どうぞ、御旨のままに、お取り計らいください。願わくは、御身の愛と恩寵をお与えください。わたしはそれだけで充分です。」

イグナチオ・ロヨラ

第2黙想

目的：神は全ての被造物、全ての人、わたし自身の中に現存しておられることを内面的に知ること

📖 ヨハ 1,1-14

📖 マコ 8,22-26

- 自然において神の現存を感じたことがありますか。
- 他の人の中に神がおられることを体験したことがありますか。
- 自分自身の中に神がおられることを体験したことがありますか。

第3黙想

目的：神は全ての被造物、全ての人、わたし自身の中で働いておられることを内面的に知ること

📖 ヨハ 5,17

📖 ヨハ 14,1-14

- 神は自然の中で、また、自然を通して働いておられることを体験したことがありますか。
- 神は他の人の中で、また、他の人を通して働いておられることを体験したことがありますか。
- 神は自分自身の中で、また、自分自身を通して働いておられることを体験したことがありますか。

第4黙想

目的：全ての被造物、全ての人、全ての出来事（神の望みに適わない出来事を含めて）の中で、善が存在し、この善は神の賜物であることを内面的に知ること

📖 知恵 11,22-12,2

📖 ヨハ 3,14-21

📖 ロマ 8,25-30

📖 ロマ 5,20-21

- 失敗や思い通りにならなかった出来事は、良い結果をもたらしたというような体験がありますか。
- 悪人だと思った人、または、嫌いな人に、親切にしてもらったり、何か良いことをしてもらったりしたことがありますか。
- 自分が犯した罪や行った悪から善が生じたような体験がありますか。